

## マネーボール理論を日本のプロ野球で見るとどうなるか

下平 将吾

高橋 健太

### 目的：

マネーボール理論とは、アスレティックスの GM であるビリー・ビーンが考案したものである。その理論を用いて当時のアスレティックスはチームの年俸総額が下位にも関わらず二年連続シーズン 100 勝をした。

その理論を日本プロ野球に当てはめ、優勝する球団はマネーボール理論通りであるのか、を見てみた。

### 分析：

今年(2013 年)のセ・リーグ、パ・リーグの優勝チームと最下位チーム、さらに日本的チームとマネーボール的チームをそれぞれ選び過去五年のデータを調べた。

マネーボール理論は「出塁して長打で得点する」のがもっとも効率的だと述べている。それを分かり易くするために特性要因図にして表した。

次に、それらに説得力があるのかを証明するために統計ソフト R の回帰分析を使う。

### 結果：

回帰分析の結果、決定係数が約 80% であった。さらに、t 値が 2 以上の変数だけを抜いて回帰分析をやった結果、決定係数はさほど変わらなかった。

これらから、マネーボール理論は日本プロ野球でも合っていると考えた。